

事後評価シート

主管課・室長：環境影響評価課長

| | |
|-----------------|---|
| 施策名 | - 5 - (2) 戦略的環境アセスメントの推進 |
| 施策の概要 | 国の施策の策定等に当たって、個別の事業の計画、実施に枠組みを与えることになる計画（上位計画）政策について、一定の手続きや手法に基づいて環境保全上の適切な配慮を確保すること。 |
| 目標及び指標（参考指標） | 国の施策の策定等に当たって、個別の事業の計画、実施に枠組みを与えることになる計画（上位計画）政策について環境保全上の適切な配慮を確保する。 |
| 目標の達成状況 | 「廃棄物分野における戦略的環境アセスメントの考え方」を平成13年9月に取りまとめた。 「海外における戦略的環境アセスメントの技術手法と事例」を平成13年9月に取りまとめた。 |
| 評価 | 平成12年度にとりまとめた「戦略的環境アセスメント総合研究会報告書」の考え方について、個別具体的な分野として廃棄物分野に当てはめた場合の導入可能性や手続や技術的手法等について検討を行い、意欲のある地方公共団体が先進的事例を実施する際の参考例を示した。 海外における戦略的環境アセスメントの、技術手法や事例取組について取りまとめた。 これら以外の幅広い分野で取り組む際の考え方、より専門的、技術的な手法について、整理が不足している。また、試行的な取組を行う際の情報が未整備である。 |
| 今後の課題 | 廃棄物分野について、さらに詳細な手続や技術的手法に関する検討を進めるとともに、他の分野についても同様な検討を行う必要がある。 引き続き海外の先進的事例を収集、分析するとともに、SEAの手続き開発等における国際協力を進める必要がある。 その上で、国や地方公共団体において具体的・先進的な取組を行うための手引きを作成し、同時に取組へのサポート体制を整えていく必要がある。 それらの準備を整えた上で、環境基本計画にある通り、国や地方公共団体における取組の実例を積み重ね、その有効性、実効性の検証を行い、その後、ガイドラインの作成等の取組を検討していく必要がある。 |
| 政策効果把握の手法及び関連資料 | 「廃棄物分野における戦略的環境アセスメントの考え方」（個別分野における戦略的環境アセスメントに関する研究会中間報告書） 「海外における戦略的環境アセスメントの技術手法と事例」 |
| 添付資料（別紙） | |

事務事業評価シート

| 施策名 | - 5 - (2) 戦略的環境アセスメントの推進 | |
|------------------|--|--|
| 事務事業名 | 効果 及び 評価 | 主な関連予算事項、税制等 |
| ア．戦略的環境アセスメントの推進 | <p>「廃棄物分野における戦略的環境アセスメントの考え方」を取りまとめ、具体的な戦略的環境アセスメントの在り方に関する検討を進めた。また、「海外における戦略的環境アセスメントの技術手法と事例」を取りまとめ、海外の戦略的環境アセスメントについて技術手法、事例の情報整理を行った。今後、さらに、情報収集及び手法の検討を進め、まずは、国や地方公共団体における取組の実例を積み重ねるために、取組を行うための手引きを作成し、同時に取組へのサポート体制を整えていく必要がある。</p> <p>また、国際的な動向を把握するとともに国際連携した取組の推進が必要である。</p> | <p>・戦略的環境アセスメント制度総合研究調査</p> <p>15百万円</p> |